

いごいのみぎわ  
天路歷程 ジョン・パニヤン

第17話

2022年3月13日～3月19日 各家庭でのディボーション用テキスト

**愛子** ですが、あなたは彼らに話して、後に残っていることの危険を教えるように努めるべきでしたね。

**基督者** そうしたのです。神が私たちの都の滅亡について私にお示しになったことも話したのです。しかし彼らにはざれごとを言う者のように思われて、【創19:14】私の言うことを信じませんでした。

**愛子** 彼らがあなただけの勧めを聞き入れるよう神に祝福をお祈りしましたか。

**基督者** はい。それも愛情をこめてです。何と言っても家内や子供たちは本当にかわいいですからね。

**愛子** ですが、あなたはご自分の悲しみと滅亡の恐ろしさをお話しになりました。と申しますのも、滅亡のことは多分あなたには目に見えるようだったでしょうから。

**基督者** はい。何度も、何度も、何度も。彼らはまた私の顔つきや涙や、頭上にかかっているさばきの恐ろしさの下で震えている様子に、私の恐怖を見ることができたでしょう。しかしそのすべても一緒に来るよう彼らを説きつけるには十分ではありませんでした。

**愛子** ですが、来ない理由として皆があげることのできたものは何でしょうか。

**基督者** それがです、家内はこの世を失うことを恐れていましたし、子供たちは若い者の愚かな楽しみにふけていたからです。あれやこれやで、このように独り旅をするようになったのです。

**愛子** ですが、あなたが彼らを説きつけて連れて来ようといろいろ言って聞かせたことも、ご自身の空しい生活のために、力が無かったのではないですか。

**基督者** 実際、私は自分の生活をほめることはできません。沢山の失敗をしたことを自分で意識しているからです。人のためを思って議論や説得によってその心をつかもうと骨折っても、その行ないによってじき引っくり返してしまうものだということを私は知っています。それでもこれだけは言えます、私は見苦しい行為をして彼らが巡礼に出るのに反対する理由を与えないようにとずいぶん注意しました。そればかりか、このことのためにかえって彼らは、私があまりに固苦しく、また彼らから見て少しも悪くないことを自分たちのために我慢しているのだと言ったものです。いや、このように申してもよろしいでしょう、彼らの妨げとなったものが私の中にあつたとすれば、それは私が神に対して罪を犯したり、隣人に何か悪いことをしないかと非常に気づかったことであると。

**愛子** 実際カインが弟を憎んだのは、彼のわざが悪く、弟のわざは正しかったからです。【Iヨハ3:12】もしあなたの奥さんとお子さん方がこのためにあなたに対して気を悪くされたとすれば、それは自分たちが善と相いれないものであることを示

すもので、またあなたは彼らの血から自分の命を救ったのです。【エゼ 3:19】

さて私が夢でみていると、彼らは夕飯の仕度ができるまでこのように語りあった。こうして用意が整ったとき食事の席についた。今や食卓には肥えたものと、よく澄んだぶどう酒が出された。【イザ 25:6】そして食事中的話はすべて丘の主についてであった。すなわち、彼が何をなされたか、何のためにそういうことをなされたか、なぜこの家を建てられたかであった。私がお話で悟ったことは、主は大いなる勇士であって、死の権威を持つ者と戦って彼を殺されたが、【ヘブ 2:14-15】ご自身も大きな危険をおかされたということであった。このため私はいよいよ主を愛するようになった。

**基督者** 彼らも言い、また私も信ずることですが、主は多くの血を流してそれをなされたのです。しかし彼がなされたことに恵みの栄光を与えたものは、彼がみ国への純粋な愛からそれをなされたということです。

その上またこの家のある人々の話では、彼が十字架の上で死なれた後、彼に会って話をしたとのことであった。彼自身の口から聞いた所では、彼は貧しい巡礼者たちを非常に愛されるお方だということで、そのような方は東から西へとさがしても見当たらないと彼らは証言した。

その上、彼らは証言したことの例をあげたが、それは彼が貧しい人たちのために自分の栄光を脱ぎすてられたこと、また主は独りシオンの山に住もうとは思わないと断言されるのを聞いたというのであった。さらに彼は、多くの巡礼が生まれながらのこじきで、その祖先はあくたのような者であったのに、彼らを王侯となされたと言った。【Iサム 2:8、詩 113:7】

こうして彼らは夜おそくまで論じ合った。そして主のご加護を祈った後眠りについた。人々は巡礼者を二階の大広間に寝かせた。その部屋の窓は日の出る方に開いていた。その部屋の名は平安の間であって、彼はそこで夜明けまで眠った。それから目を覚まして歌った。

今いるのはどこであろう、  
罪許されて、すでに天国の隣に住む  
備えをなされるとは、  
これこそ巡礼者への  
イエスの愛と配慮であろうか。

【ジョン・パニヤン 天路歷程 正篇 より】

※この本は図書に置かれています。さらに読みたい方はどうぞご利用下さい。